

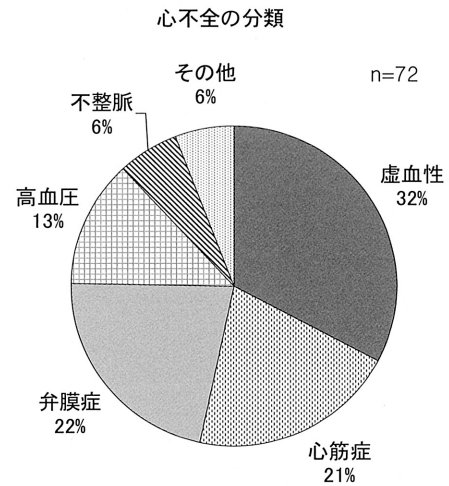
外来を庄野が、病棟および救急外来を済生会熊本病院心臓血管センターからの出向医師が担当する形で循環器の診療を行った。熊本病院からは、レジデント医師減少のため一部スタッフ医師にも応援を受け、1年間を乗り切ることができた。2006年度は三角町の医院閉鎖の影響もあり、外来通院患者の増加となり、処方長期投与を余儀なくされた。

入院症例の循環器関連疾患163例であったが、呼吸器疾患、脳血管疾患なども含めて計456例の患者の入院診療を行った。

熊本病院などへの搬送例も含めて、入院症例の主な疾患の症例数は、急性心筋梗塞12例、内因性CPA18例、狭心症24例、心不全72例、不整脈24例、弁膜症2例、血圧異常6例、急性大動脈解離5例、その他の血管疾患10例、肺塞栓症1例などであった。ペースメーカー植え込みを6例（新規3例）行った。

主な循環器疾患の内訳

| | |
|------------|----|
| 急性心筋梗塞 | 12 |
| 不安定狭心症 | 24 |
| 狭心症 | 7 |
| 急性大動脈解離 | 5 |
| その他の血管疾患 | 10 |
| 心不全 | 72 |
| 不整脈 | 24 |
| 弁膜症 | 2 |
| 血圧異常 | 6 |
| 肺塞栓症 | 1 |
| その他 | 23 |
| CPAOA（内因死） | 18 |



循環器検査件数

| | |
|----------|-------|
| 心エコー | 1,812 |
| 負荷エコー | 105 |
| トレッドミル | 140 |
| ホルター | 188 |
| 頸部血管エコー | 282 |
| 下肢血管エコー | 277 |
| ABI | 268 |
| 心臓CT | 37 |
| 血管CT,MRI | 130 |

熊本病院へはカテーテル検査・治療、心臓手術などの症例を1年間に延べ116名紹介した。

内訳は、心臓血管手術17例、急性心筋梗塞12例、急性大動脈解離4例、カテーテル治療25例、検査カテーテル43例、ペースメーカー4例、アブレーション1例などであった。